

# 林業普及週間現地情報

森林管理課

## きのこと教室（第1回）の開催について

7月24日（月）

7月22日（土）に、那覇市の末吉公園で小学生以上の子どもを対象に「きのこと教室」を開催した。15組（想定30人）の親子を募集したところ、想定を上回る41人の参加があった。

本イベントは、平成29年度沖縄県産きのこと消費拡大事業（委託事業）の取り組みの1つとして実施したもので、全4回のうちの第1回目。1回目は、きのことについて学び、身近な野生のきのを探するという内容で「きのこと大捜査」と称し、琉球大学農学部教授の高島幸司氏に講師を依頼した。

はじめにきのことについての基礎知識を学んだ後、末吉公園内を散策して野生のきのを探した。気温30度を超える暑い中、蚊と戦いながらの散策となったが、参加者はきのこと探しを楽しんでいた。また、散策後には見つけたきのを1カ所に集めて、高島教授がきこの解説を行った。参加者は皆興味深そうに聞いていた。

イベント前は晴天が続いていたことから、きこのが見つかるかどうか心配していたが、参加者の熱心な「大捜査」の結果、アラゲキクラゲをはじめ、たくさんのきこの仲間が見つかった。また、きことにまつわる通説のウソや、きのを生で食べてはいけないことについての実体験を交えた話など、「大学教授による解説」が知的好奇心を刺激したのか、親子ともに最後まで飽きずに参加してもらえたのではないかと感じた。

中には、夏休みの自由研究にきのを取り上げたいという子どもがいたことから、小さな頃からきことに興味を持ってもらうという本イベントの目的が達せられたと考えられる。

（報告者：森林管理課 眞鍋）



（左上）きのことについての基礎学習

（右上）野外できのこと探し

（左下）見つけたきこの解説